

# 審査・表彰

## (1) 審査日程・審査方法

- 12月に審査会(岡山市協働推進委員会)で審査し決定します。
- ※審査会で応募団体にヒアリングをさせていただくことがあります。
- ※インターネットでの投票を行います。その結果も審査の参考とします。

## (2) 表彰・副賞

- ① 協働のまちづくり大賞 賞金10万円と表彰状
- 協働のまちづくり賞 賞金 5万円と表彰状

- ② 入賞された取組は、令和2年度内に5分程度の動画を作成し、DVDを贈呈します。
- また、岡山市の市民協働推進ポータルサイト「つながる協働ひろば」に掲載します。

## (3) 表彰式・活動発表等

- 入賞された取組については、表彰式を行うとともに、令和2年2月に開催予定の「市民協働フォーラム」で活動報告をしていただきます。
- また、応募されたすべての取組について、「協働のまちづくり展」等で活動パネルの展示をします。



## 応募方法

所定の応募用紙に記入し、取組内容を補足する資料等を添えて、送付(電子メール可)または持参してください。(提出書類は原則公開となります。また提出書類は返却しません。)  
 応募用紙は「おかやまNPO・ボランティアサイトつながる協働ひろば」でダウンロードできます。

<http://www.okayama-tbox.jp/kyoudou/>

**募集期間** 令和元年7月19日(金)～10月11日(金) 消印有効

応募先・  
問合せ先

岡山市市民協働企画総務課市民活動支援室  
 住所 〒700-8544 岡山市北区大供1-1-1  
 電話 086-803-1061 E-mail kyoudou@city.okayama.lg.jp  
 ※電子メールで送付の場合、3日以内に返信がない場合は、念のためお電話でご確認下さい。

## 協賛のお願い

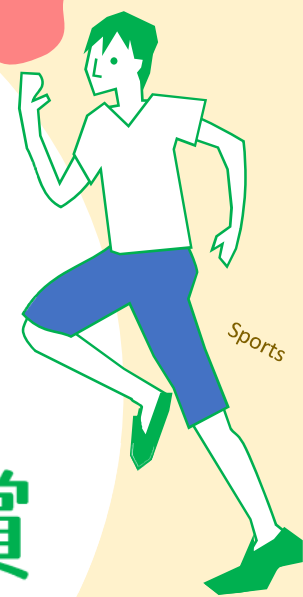
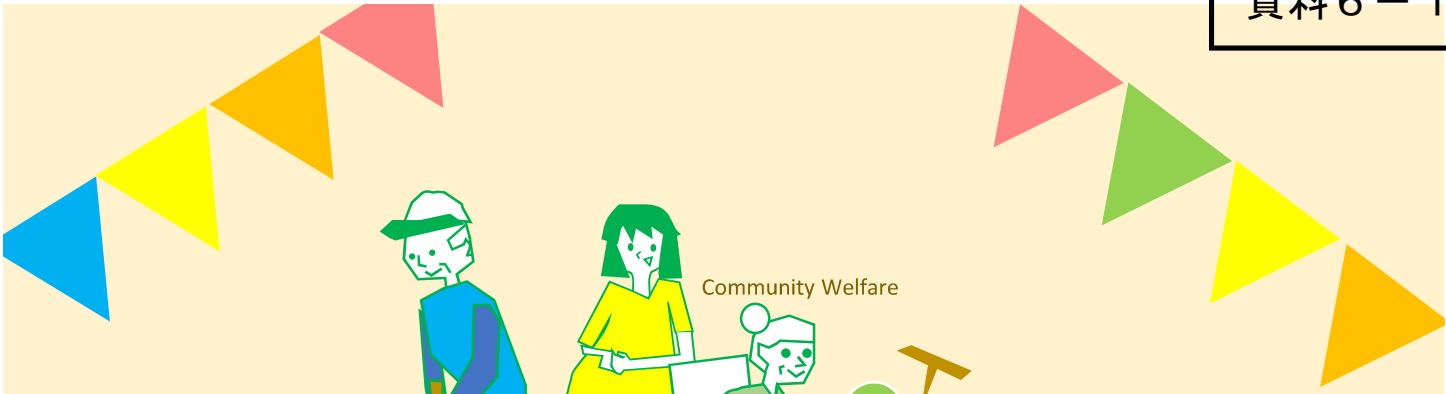
表彰状、副賞のほか、記念品を応募団体に贈りたいと考えています。  
 多様な主体が一緒に活動し、市民の「すべての人に健康と優しさを」につながる取組を応援していただける企業、団体を募集しています。

問合せ先:岡山市市民協働企画総務課市民活動支援室  
 電話 086-803-1061 E-mail kyoudou@city.okayama.lg.jp

**募集期間** 令和元年7月19日(金)～10月11日(金)



SDGs:2030年の世界に向けた  
 国連で採択された17の目標



第4回  
おかやま  
協働の  
まちづくり賞  
2019

応募募集締切  
令和元年10月11日(金)

SDGs Goal



募集テーマ

すべての人に  
健康と優しさを

# 第4回「おかやま協働のまちづくり賞」 募集要項



「おかやま協働のまちづくり賞」  
とは？

「岡山市協働のまちづくり条例」に基づき、豊かで活力ある持続可能な地域社会の実現のため、地域住民、NPO、企業、学校、行政など、多様な主体の協働による、優れた地域の社会課題解決の取組を表彰し応援します。



「第3回おかやま協働のまちづくり賞」（2018年度）のテーマは“やりがいと豊かな暮らし”。  
大賞・入賞・奨励賞あわせて9つの取組が賞を受賞しました。

SDGs 3



令和元年度テーマ

すべての人に健康と優しさを

「健康で自分らしい生き方をしたい」市民の誰もが抱いている願いです。

健康で心豊かに生きられる地域社会を実現する取組、歳を重ねることで体の機能が衰えたり、病気や事故により障がいを負うことになっても、趣味や生活を楽しみたい、社会とつながりを持ちたいなど、自分らしく生活ができるように、地域で支え合う取組を募集します。

取組の対象や年齢、活動分野は問いません。

住民自治組織、NPO、企業、学校、行政など多様な主体と一緒に活動し、市民が健康で自分らしい生活を送られるような取組など、地域で支え合っている取組をお待ちしています。



## 募集テーマとSDGs



SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015年9月の国連サミットにおいて、全会一致で採択された2030年を期限とする世界共通の17の目標です。誰一人取り残さない社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に総合的に取組みます。岡山市ではSDGsの実現に向けた取り組みを全庁を挙げて推進しており、持続可能な地域社会の実現をめざすための協働の取組もSDGsの理念に沿っていると考え、テーマに取り入れています。

# 表彰の対象となる取り組みの要件～多様な主体の協働の取組～

住民自治組織、NPO法人その他の市民活動団体、事業者、学校・大学等、地域の社会課題解決に関する取組を行う全ての団体が応募できますが、応募する取組は、次の要件を満たすことが必要です。

- ① 取組の目的や内容が、本年度のテーマに沿ったものであること。
- ② 岡山市の社会課題解決のための取組であること。  
※宗教、政治又は営利を主たる目的とする活動及び、暴力団又は暴力団員の統制の下にある活動は対象としません。
- ③ 2団体以上の多様な主体の協働で取り組まれていること。  
※「団体」とは概ね10人以上で構成されているものをいいます。  
「団体」には行政機関も含まれます。協働団体のうち1者は岡山市内に所在する団体であることが必要です。  
※協働団体が多分野にわたっていることや、各団体の関わりの深さが評価の対象となります。
- ④ 原則として岡山市内で実施される取組であること。  
(ただし、実施場所が市外であっても、岡山市の社会課題解決につながるということが明白な場合は対象となります。)

## 審査基準

### ①テーマとの整合性

募集テーマに沿った取組であり、そのテーマがどれだけ取組の中で実現されているか。

### ②成果の妥当性（解決をめざした取組の成果）

解決しようとしている社会課題が明確であり、取組によりどれだけ課題の解決が進んだか、または、今後の成果が期待できるか。

### ③協働力（協働の原則〔岡山市協働のまちづくり条例第4条〕に照らした協働の成果）

協働している団体の特性が発揮され、役割分担を明確にして、共有する目的のために活動しているか。  
住民自治組織・NPO法人・企業など、協働団体が多分野にわたっていることや、各団体の関わりの深さも評価の対象となります。

### ④公益性・公共性

市民ニーズが高く、社会課題解決により公共の利益につながるか。

### ⑤地域への貢献度

地域資源や人的資源の活用などの工夫がみられ、また、社会課題解決が豊かで活力ある地域社会づくり、岡山市づくりにつながるか。

### ⑥継続性

一過性のものでなく、将来に向けた継続性があるか。

(但し、課題の解決が果たせたなど、目的が達成した取組の場合は、その取組そのものが終了していても取組の成果効果等の継続で判断します。)

### ⑦先駆性・独創性

先駆的な取組であるか、また、特色ある取組であるか。